

## 「北の近江振興 高校生サミット」に伊吹高校の生徒が参加しました

令和7年2月16日（日）、高島市のガリバーホールで開催された「北の近江振興高校生サミット 集え！北の高校生たちよ！」に、伊吹高校の生徒が参加し、探究の成果を発表しました。

この高校生サミットは、北部地域の9つの高校で学ぶ生徒たちが、地域の魅力や課題について探究し、その成果を広く県民のみなさまに発表する場として昨年度から実施されているものです。

伊吹高校の発表テーマは「湖北の観光案内をAIで変える ～生成AIを活用した観光案内ボットの開発～」。

人に寄り添った観光案内ができる AI を活用して、湖北地域の魅力を訪れる人々によりわかりやすく情報を伝えることを目指す取り組みで、プログラムのデモンストラーションを行いながら、実際の観光案内の様子を紹介しました。



発表を聞いた滋賀県知事からは、

「これめっちゃええやん。すごく面白くてハマってしまった。これからも企業や自治体などと協力しながら発展させ、さまざまな場で活用して行ってほしい」との感想をいただきました。

サミットでは、発表後にパネルディスカッションも行われ、参加した高校生たちは「北部を盛り上げよう」というテーマのもと、活発に意見交換を行いました。伊吹高校の生徒たちは、他校の取り組みに刺激を受けながら、自分たちの地域をより良くするための具体的なアイデアを共有する機会となりました。

今回のサミットでの経験を生かし、伊吹高校では引き続き地域と連携しながら学びを深め、実践に結びつけていく予定です。今後の活動にもぜひご期待ください。

